

城下町探訪 7

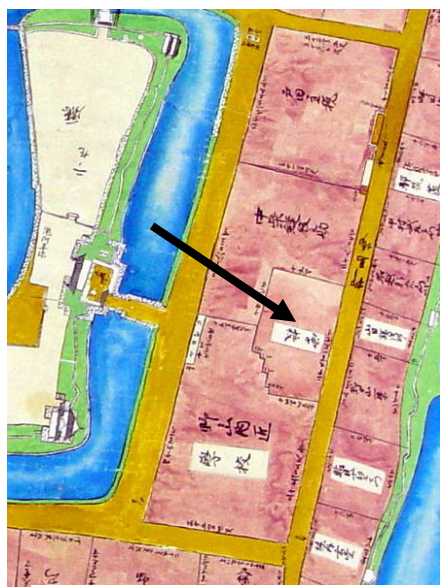
2009/5/14

藩校「崇教館」跡

松本藩の藩校は現在の市役所本庁舎と日本銀行松本支店の間辺りにありました。

藩校は「崇教館」といいますがこれをなんと読むか、現在二つの読み方が存在します。

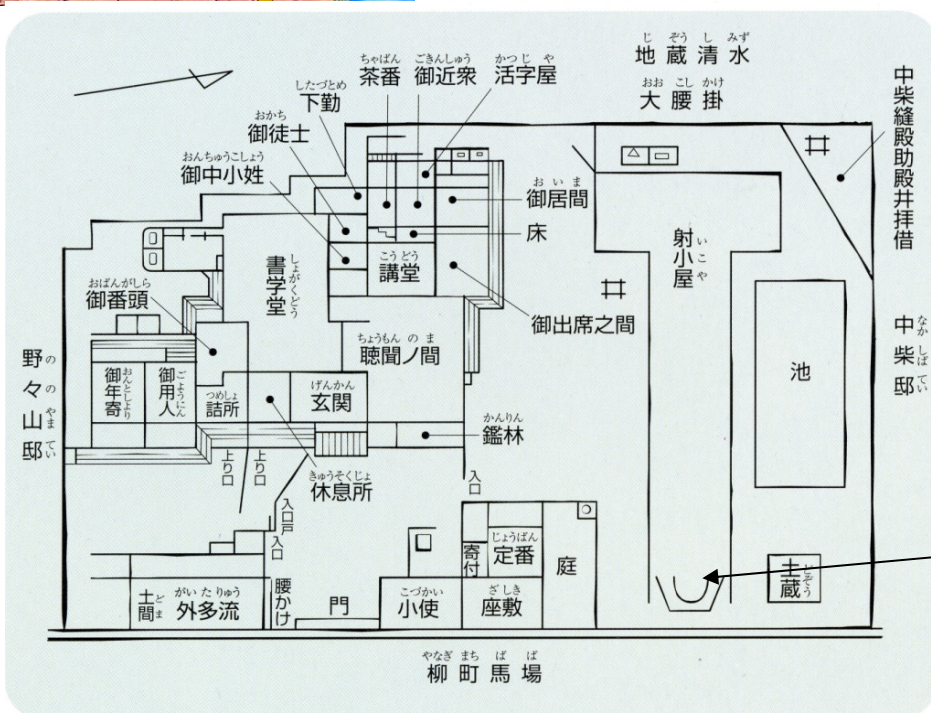
東筑摩郡・松本市・塩尻市誌第二巻歴史下842Pは「そうきょうかん」と読み、「松本市史」索引は「そ」のところに分類してありますから同じく「そうきょうかん」と読ませています。一方で「すうきょうかん」と読む読み方もあり江戸時代などと呼ばれていたかわからないのが現状です。（ここでは松本市史と郡市誌にしたがって「そうきょうかん」と読むことにします）



崇教館は藩主戸田光行が藩士およびその子弟に文武の道を学ばせ孝悌（父母に孝行をつくし兄に従順であること）の義に厚からしめようとして寛政4年設立に着手し、寛政5年（1793）より講義を開始した藩校です。

場所は柳町と地藏清水の両区にまたがり戸田氏家族の別邸に修繕を加え、以前からあった新町学問所を移したもので御学館とも呼ばれました。

構内は1200坪、建物敷地400坪、木造平屋建てで、入り口は柳馬場側にありました。大小あわせて17の部屋があり学習用に使われた講堂、書学堂、聴聞の間が心臓部でした。下図は崇教館の見取り図です。



※外多流
剣術の流派

※大腰掛は腰
を下ろして待
機するところ

※活字屋は教
科書用の版木
をしまった所

※弓道の塙
(あずち)

○教授科目

崇教館では漢学・筆道・習礼・弓術・剣術等の教科を置き、その他、数学・槍術・兵馬・砲術・遊泳等の諸術を教えました。しかし、校内が狭く、ことごとく教場を設ける事が出来ないで、それぞれの師範の邸内で教授に当たりました。馬術・砲術は藩の馬場や射場を使って行い遊泳は桐の新池が教場でした。

○生徒数・休日

生徒数は文政・天保のころは約 60 人、文久・元治以降は 260 人、明治 3 年 10 月藩学となり 50 石以下の卒族の子弟も入学するようになり 300 人余となりました。

授業時刻は毎日午前 8 時から午後 2 時で、休日は一六の日（1 と 6 の付く日）五節句・祭日・12 月 21 日より正月 20 日まで、土用休み等、その他の臨時休業も多かったといえます。

○就学年齢

入学出来るのは、明治 3 年以前は諸士といわれる 50 石以上の子弟でした。年齢は明確には記載されていませんが「四書五経の素読は 8～9 才から 15～16 才で終わる」とあることから 8 才から 16 才くらいの元服前までの期間であったと思われます。

50 石以下の武士は卒族と呼ばれ、学に志ある者は家塾や寺子屋を選んで勉強しました。武道教育も各自の自由で各種の師範の元に通って腕を磨きました。明治 3 年 10 月崇教館が松本藩学と改まり卒族の子弟も諸士の子弟と同じく藩学で学べるようになりました。

○崇教館の運営

崇教館運営の事務方は 21 人、教授方は、教授 1 人、助教 3 人、訓導 4 人、書学師 3 人、書学世話役 10 人、句読師 10 人計 31 人の構成でした。注目すべきは、句読師は優秀な生徒を選んで素読を教授し助教の職務を助けるシステムになっていたことです。

○試験はあったか

毎月月末には崇教館の館長に当たる惣教や世話役の前に助教が生徒 7～8 人をつれて進み出て試験を受けました。定期大試験は年末に行われ学習の進み具合によって 5 つのブロックに分けて行われ、成績優秀者、皆勤者には書籍、扇子などの賞与が与えられました。

○崇教館のその後

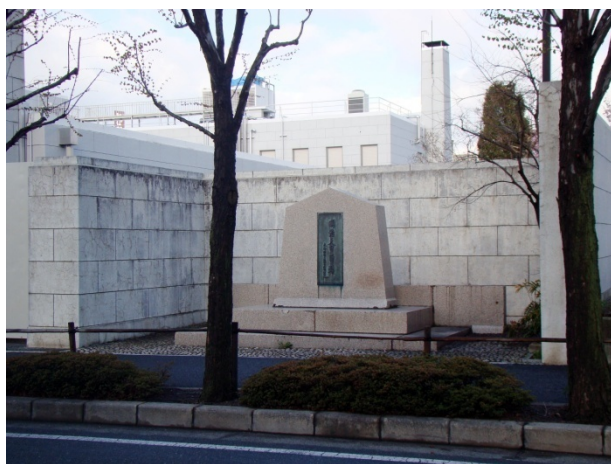
明治 3 年より崇教館は松本藩学となり明治維新の人材育成が急務となり旧風を一新して諸士・卒族を問わず 8 才以上の子弟を教育しました。廃藩置県後は松本県学と改称され、次いで明治 5 年 5 月 5 日筑摩県学が旧全久院を校舎として開校しました。県学の開校と並行して小学開校の準備が進められました。学制が發布され、明治 6 年 5 月 6 日開智学校が筑摩県学を改修して県学の教員の大半を受け継いで開校しました。



崇教館のあった場所

※詳しく知りたい方は松本市史 第二巻歴史篇Ⅱ近世 772 p・歴史篇Ⅲ近代 175 p を御覧ください。

○記念碑



松本市役所本庁舎の南側の駐車場と日本銀行松本支店の柳馬場通り^{やなぎのばば}に面して写真のような東郷平八郎の筆になる「明治天皇聖蹟碑」が建っています。昭和9年、明治節^{めいじせつ}に「明治大帝御駐蹕記念会」(会長百瀬興政)によって建てられた碑です。裏に回ると建設の趣旨を記したプレートがはめ込まれています。文は旧松本藩主戸田光則の孫、戸田康保です。

その中に「明治13年、明治天皇が6月25日この地にあった師範学校と中学校においてになった。ここは藩学崇教館旧地であり現在は松本女子職業学校のある所である」と記されています。

昭和9年11月4日除幕式を行ったこの記念碑は女子職業学校南側の校門を入った玄関前にありました。昭和33年、日銀が本町から移転するにおよび記念碑は現在地へ移されたものと思われます。崇教館跡を示す標柱はなく、僅かに「明治天皇聖蹟碑」の中にその名をとどめています。